

日本ことわざ文化学会学会誌投稿規定

1. 名称

日本ことわざ文化学会（以下、「学会」とする）は、学会誌を『ことわざ文化学研究』（Proverb Studies in Japan）と称する。

2. 投稿資格

(1)原稿の投稿者は、学会の会員でなければならない。なお、編集委員会が原稿を依頼する場合は、この限りでない。

(2)学会の会員以外の者との共同研究については、著者が学会の会員であればよい。

3. 投稿原稿の内容

(1)ことわざ研究及びその関連領域に関する、原則として未公開のものに限る。

(2)学会大会や研究会の予稿集、科学研究費補助金等の研究報告書に掲載された原稿は、投稿して差し支えない。ただし、採用決定後に提出する掲載原稿にその旨を明記すること。

(3)他の学術誌に投稿中の原稿と同じ内容で投稿すること（二重投稿）は、認めない。

4. 投稿原稿の種類

原稿の種類は以下の3種類とする。また原稿の種類は、著者が投稿時に指定する。

①研究論文：独創性のある研究成果が、実証的または理論的に述べられているもの

②実践報告：教育現場等での取り組みの内容が具体的に述べられ、それを共有することが社会への貢献に結びつくもの

③研究ノート：萌芽的研究や、特定の話題に関する指摘・提案等

④翻訳：学術的な内容のある翻訳（事前に相談のこと）

ただし、編集委員会が、審査結果に基づき、著者に種類の変更を勧めることがある。

5. 投稿原稿の書式・分量

(1)使用言語は、日本語を原則とする。ただし、日本語以外の言語での投稿を希望する場合、事前に相談すること。

(2)表題・要旨・キーワードは、日本語と英語の両言語で記す。

(3)原稿は、左横書きとする。

(4)原稿は、A4サイズに1ページ40字×38行で印字する。字体および文字サイズは、以下の通りとする。

①表題：MS ゴシック 17ポイント

②副題：MS ゴシック 15 ポイント

③投稿原稿の種類：MS ゴシック 12 ポイント

④本文、キーワード、要旨、所属、氏名：MS 明朝 10.5 ポイント

⑤図表：表題 MS ゴシック 9 ポイント

それ以外 MS 明朝 8 ポイントまたは9 ポイント

(5)原稿（本文：図表・注・参考文献を含む）の分量は以下の通りとする。

①研究論文および実践報告：15 ページ以内（スペースを含む 22,800 字以内。400 字詰め原稿用紙 57 枚相当）

②研究ノート：10 ページ（15,200 字以内。400 字詰め原稿用紙 38 枚相当）

*図、表は字数に除く

(6)要旨の分量は以下の通りとする。

①日本語：600 字以内

②英語：200 語以内

(7)本文中に章・節等の記号をつける場合、章は「1.」「2.」、「第1章第1節」は「1.1」とし、以下これに準ずる。

(8)本文中の外国人名等の固有名詞は、以下を表記の原則とする。

①アルファベット表記が可能な場合、英語綴りまたは特殊記号を省略した原綴りで記す。

例：Ann Gardner、Bozena Kukuc

②漢字表記が可能な場合、漢字表記で記す。例：王燕燕

③ハングル等、アルファベットまたは漢字表記以外を使用する場合、（ ）にアルファベットまたは漢字表記を記す。例：김유진 (Kim Yoo Jin) 백금종 (白金鐘)

ただし、上記①～③ともに、公式の名称等として著名なものは、カタカナ表記でもよい。

(9)紀年法については引用を除き、西暦を用いる。

(10)注は論文の末尾に入れる「末尾注」とし、脚注は使用しない。

(11)引用文献は参考文献に含める。参考文献の表記方法は、投稿者の分野で用いられる方法に準じる。

(12)書式、分量について希望者にはフォーマットを送る

6. 投稿時の提出物・提出方法

(1)投稿は、電子メール通信によりこれを行う。

(2)電子メールの件名は「『ことわざ文化学研究』投稿」とする。

(3)投稿時には、それぞれ別のファイルにした「投稿シート」「原稿正本」「原稿副本」を添付で送信する。なお、ファイル名の（ ）内には筆頭著者のフルネームを書き入れる（例：投稿シート（学会花子））。

(4)上記(3)の2種類のファイルは、PDF と Word ファイルにして送信する。

(5)投稿シートには、以下の事項を記す。

①原稿の種類（研究論文・実践報告・研究ノート）

②表題（日本語・英語）

③著者名・著者所属機関名・職名（日本語および日本語のローマ字表記）

④連絡先（住所・電話番号・FAX 番号・E-mail アドレス）

共著の場合は、筆頭著者の連絡先を記す。

(6)原稿正本には、以下の事項について、記した順に書く。また、各ページにはページ番号を付す。

①原稿の種類（研究論文・実践報告・研究ノート）

②著者名・著者所属機関名・職名（日本語および英語）

③表題・要旨（日本語：600 字以内、英語：200 語以内）・キーワード（5 語以内）

④本文（図表・注・参考文献を含む）

(7)原稿副本は、原稿正本から②著者名・著者所属機関名・職名を除いたものとする。注・参考文献・謝辞・付記等で、著者が特定できるような場合、副本ではその部分を削除するか、伏せ字にして特定できないようにすること。

7. 投稿の締切日・送付先

(1)投稿の締切日は、創刊号については2017年11月30日とする。2号以降も、毎年11月30日とする。

(2)原稿は、学会誌編集委員会編集委員（以下、「編集委員」とする）のアドレスに電子メールで送信する。

(3)通信障害等により送信できなかった場合は、5. (3)を印刷の上、封筒に「日本ことわざ文化学会学会誌投稿原稿」と朱書きし、編集委員宛に郵送する。なお、その場合は、締切日遅延について配慮するので、「通信障害」のように理由を明記すること。

(4)投稿受理後、編集委員会は、投稿者に原稿受理日等を電子メールで通知する。

(5)締切日を過ぎて受信した原稿は、次年度投稿分として受理する。

8. 採否の決定

(1)原稿の査読は、2名の査読者（編集委員及び編集委員会から依頼された外部査読協力者）によって行う。それを踏まえ、編集委員会で審査し、掲載の可否を決定する。

(2)採否の結果は、A（そのまま掲載可）、B（修正の上、掲載可）、C（掲載不可）のいずれかとし、2号以降は原稿受理日から原則として1か月以内に投稿者に電子メールで通知する。

9. 刊行スケジュール

(1)掲載が決定した最終原稿はPDFファイルにし、編集委員宛に以下の①ー⑤を送信する。

①原稿の種類

②著者名・著者所属機関名・職名（英語表記も明記）

- ③表題・要旨（600字以内）・キーワード（5語以内）（日本語）
 - ④表題・要旨（200語以内）・キーワード（5語以内）（英語）
 - ⑤本文（図表・注・参考文献を含む）
- (2) 著者校正は、2校までとする。
- (3) 学会誌は、年1回3月はじめに発行する。

10. 原稿料・抜き刷り

- (1) 掲載される原稿の原稿料は、支払わない。
- (2) 学会誌は電子媒体のみとするので抜き刷りの進呈はないが、掲載号が簡易製本されたものを1部、執筆者に郵送する。

11. 著作権

- (1) 掲載された論文等に関する国内外の著作権は、学会に帰属する。
- (2) 著者本人が、当該論文等を利用する場合（例：他の出版物への転載）、学会の許可を得たうえで行うことができる。

12. 投稿原稿の公開

- (1) 学会誌は電子版で作成され、掲載原稿は学会のホームページを通じて公開される。
- (2) 簡易製本された学会誌は、国立国会図書館の東京本館と関西館に納本される。

日本ことわざ文化学会 学会誌編集委員会

附則

この規定は、2017年5月27日から施行する。

- (13) 2020年度 of 原稿送信先（郵送先）および上記規定に関するお問い合わせは、以下の編集委員にお願いします。

〒5800024

大阪府松原市東新町3-9-25

清水 泰生 メール app@fsinet.or.jp